

中部方面混成団部外広報誌 「かけはし」



第64号

令和7年9月26日

団長要望事項

「本質を見極めよ」

「信頼を獲得せよ」

駐屯地司令
要望事項

「地域と共に」

P2
新団長着任紹介
第109教育大隊長着任紹介
各中隊長交代に伴う紹介

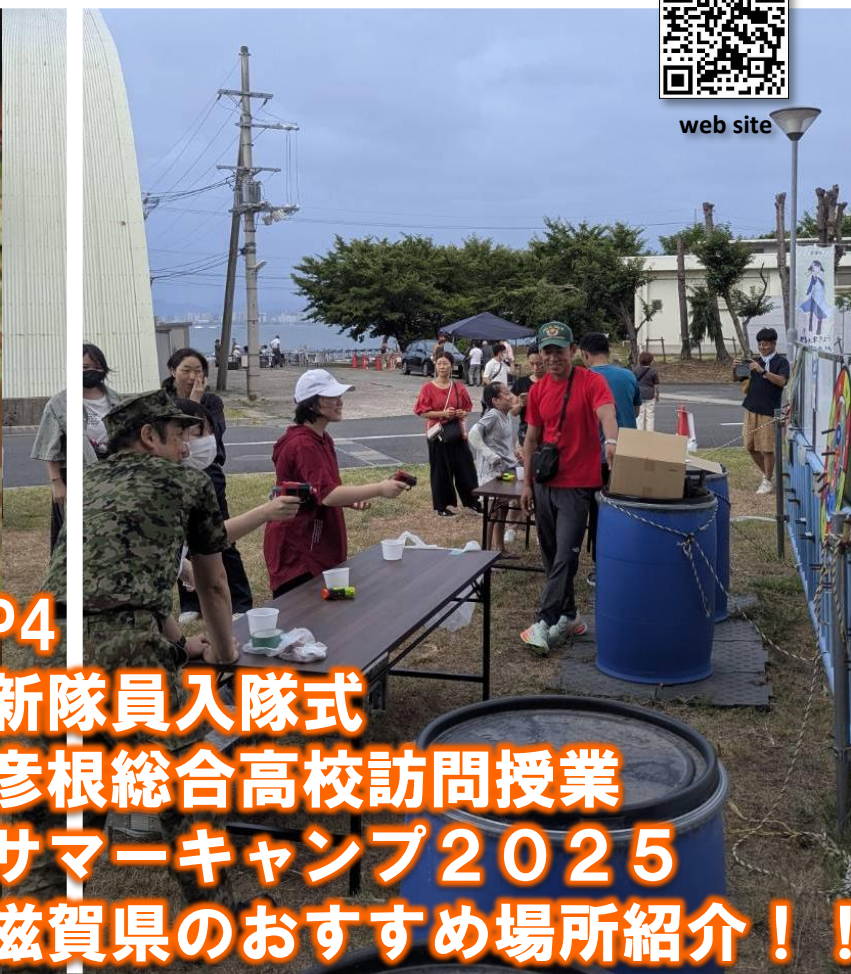
P3
第24期一般陸曹候補生修了式
新隊員等修了所感



web site



P4
新隊員入隊式
彦根総合高校訪問授業
サマーキャンプ2025
滋賀県のおすすめ場所紹介！！



『本質を見極めよ』『信頼を獲得せよ』第11代新団長着任

第11代中部方面混成団長兼ねて 第37代大津駐屯地司令



1等陸佐
のぐち のりゆき
野口 紀幸

昭和47年10月生まれ
茨城県出身
防衛大学校39期(地球)

主要経歴

- H 7. 10 第8特科連隊 (北熊本)
- H14. 3 第8特科連隊中隊長 (北熊本)
- H15. 8 富士学校特科部 (富士)
- H16. 8 幹部学校 (目黒)
- H18. 8 第3師団司令部第3部 (千僧)
- H20. 8 陸上幕僚監部教育訓練部教育訓練計画課 (市ヶ谷)
- H24. 3 陸上幕僚監部人事部人事計画課 (市ヶ谷)
- H26. 8 幹部学校 (目黒)
- H27. 8 東北方面總監部防衛部防衛課長 (仙台)
- H29. 8 第9特科連隊長兼ねて岩手駐屯地司令 (岩手)
- R 1. 8 自衛隊茨城地方協力本部長 (茨城)
- R 4. 3 幹部候補生学校学生隊長 (前川原)
- R 5. 12 補給統制本部総務部長 (十条)
- R 7. 8 現職 (大津)



団長着任の挨拶



初登庁



団本部幹部挨拶

令和7年8月1日(金)付で野口 紀幸(のぐち のりゆき)1等陸佐が第11代中部方面混成団長兼ねて第37代大津駐屯地司令に着任し、4日(月)着任式を実施した。野口1佐は、「中部方面混成団は、東海・北陸・近畿・中国・四国の2府19県にわたる中部方面区唯一の部隊であり、これらの部隊を指揮する団長として着任することは大変名誉なことであり、喜びを感じるとともに身が引き締まる思いです。」また、「部隊を指揮・統率するにあたり、『本質を見極めよ』『信頼を獲得せよ』の2点を要望した。最後に『これから在任間、これまで培った知識と経験、並びに諸先輩方から得た知恵を参考に、自ら先頭に立って、この中部方面混成団の任務完遂にまい進することを誓う』と着任の挨拶をした。

団長離任行事

混成団は、令和7年7月31日(木)大津駐屯地において第10代中部方面混成団長兼ねて第36代大津駐屯地司令 野崎 英二(のざき えいじ)1等陸佐の離任行事を実施した。今回で定年を迎えた野崎1佐は8月1日に陸将補へ特別昇任しました。



第109教育大隊は、令和7年7月31日、本田成弘(ほんだなりひろ)2等陸佐の離任行事を実施した。

大隊長離任

第109教育大隊長着任行事



2等陸佐
廣田 哲

出身地：東京都
期別：95B
信太山業務隊(信太山)から

要望事項『活模範』
『問題意識の保持』
『明朗な環境の構築』



第109教育大隊は、令和7年8月1日(金)第32代目第109教育大隊長 廣田 哲(ひろた てつ)2等陸佐の着任行事を実施した。式には同日付けで着任した中部方面混成団長野口1佐が立会官として廣田2佐の紹介を行った。

廣田2佐は、「第109教育大隊の統率方針を『服務の本旨を實踐し得る健全な隊員の育成』とし、要望事項を『活模範』『問題意識の保持』『明朗な環境の構築』と示した。

新着任中隊長紹介

第47普通科連隊 本部管理中隊長

第4陸曹教育隊 上級陸曹教育中隊長

第109教育大隊 第316中隊長



1等陸尉
片上 祥吾

出身地：愛媛県
期別：06I
第13旅団司令部(海田市)から

要望事項『臨機応変』



3等陸佐
柏山 英樹

出身地：大阪府
期別：00U
関西補給処桂支所(桂)から

要望事項『日々前進』



1等陸尉
森 功一

出身地：京都府
期別：05I
中部方面總監部(伊丹)から

要望事項『思いやり』『共に成長』

第24期一般陸曹候補生 修了式



6月下旬、第109教育大隊（大津）、第110教育大隊（松山）は、約3カ月の一般陸曹候補生課程教育を修了した。

修了行進では、前期教育の3カ月を通じて得た自信とこれからの自衛官として歩んでいく志と希望を胸に堂々とした姿を見せた。

本課程を修了した一般陸曹候補生たちは、今後職種部隊に必要な専門的知識及び技能を学ぶため全国各地の駐屯地へ羽ばたきます。



**第109教育大隊
314共通教育中隊
一般陸曹候補生課程**

2等陸士
川口 史花

『成長』

私は、高校卒業後すぐに自衛隊に入隊しました。普通とは少し違う自衛官という仕事に、「自分はついていけないのか。」等たくさん抱えていました。ですが、今ではそんな気持ちを思い出さなくらい充実した生活を送ることができました。いつも優しく、時には厳しく指導して下さる班長方や大好きな同期に出会えたことは、間違いなく自分の人生に花を咲かせてくれたと思っています。

辛い中でどう行動するか、自分の成長のためにはどうするべきか、今までの自分には無かったたくさんの考え、意識と出会うことができて、「入隊して良かった。」と心から思っています。

これから先も、「感謝」と「初心」を忘れず、立派な自衛官となるよう頑張ります。



**第109教育大隊
315共通教育中隊
一般陸曹候補生課程**

2等陸士
佐藤 快音

『感恩戴徳』

教育修了にあたり、私の気持ちを四文字熟語で表すと「感恩戴徳」です。感恩戴徳とは、心から感謝し恩に報いる事、敬愛の気持ちを持つ事を意味します。私の気持ちは、入隊当初、これからの様な生活が待っているのかと言う不安な気持ちと慣れない集団生活でした。

私は、入隊するまで運動に取り組んだことがありませんでした。「3km走・腹筋・腕立て」の中で特に「腕立て」が出来ず心が折れそうだったところを励ましてくれたのが「家族」「同期」「班長」「班付」でした。

課業後、毎日走り、班長・班付が組んでくれたメニューを毎日取り組んでいき、辛い時もありましたが時間が経つにつれ「腕立て」の回数が増え、伸びていきました。いつの間にか不安から自信へと変わっていったこと感謝しています。

この恩に報いる事は、私が入隊を助けてくれるような立派な自衛官になる事だと思います。家族にも親孝行していき、感謝される人になっていきます。この先も自分に負けず、自衛官として頑張っていきます。



**第109教育大隊
316共通教育中隊
一般陸曹候補生課程**

2等陸士
宇和川 和志

『切磋琢磨』

着隊からこれまでの日々を一言で表しますと「切磋琢磨」です。

私は、これまで自衛隊のような集団生活を行い全員で一つの事を成すために取組むという事が初めてであり、入隊後不安に思う日々が続いていました。同期と共に協力しながら訓練に臨み、お互いを支え引っぱりながら歩んでいくことにより、少しずつ不安が解消していきました。その過程において区隊長や班長・班付の方々が大きく私達を手助けして下さいました。集団生活とは何なのかという事を考え、同期の言動や要員の方々のお話を聞いていくとともに、「集団生活とは、どうやって同期に合わせるかではなく、自分が同期に対して何が出来るかを思考し、実行しながら生活していくこと。」と入隊当初に思っていたことから大きく変化していきました。

この考えを忘れないよう胸に刻み、後期教育に進んでいきます。



**第110教育大隊
332共通教育中隊
一般陸曹候補生課程**

2等陸士
権田 龍

『成長』

入隊当初は右も左も分からない状態で、厳しい訓練や、規則、規律に戸惑いながら不安や緊張の毎日でした。

しかし、その環境の中で仲間と支え合いながら1つ1つの任務を真剣に取り組んでいく事で、自分の中に変化が生まれました。精神面では時間や規律を守るといった責任感が生まれ、身体面でも持久力や筋力がとも向上しました。そして集団生活や各種勤務で協調性やリーダーシップの重要性を身を持って学ぶことが出来ました。特に自分が成長したことは射撃です。当初は的に当たらず0点という点数を出してしまい落ち込んでいたのですが、区隊長、区隊付、班長など様々な方に根気よく指導して頂き、徐々に点数を伸ばしていく事が出来ました。班の中でも一番下手だったのに、班の中でも上位に位置するぐらいの点数を伸ばすことができ、自分の中でも成長を感じることが出来ました。

最後にこの教育において自分を鍛え直し、人として一回りも二回りも成長することが出来たと思います。これから先も、もっと成長していこうという向上心をもって自衛隊生活を頑張りたいと思います。



**第110教育大隊
333共通教育中隊
一般陸曹候補生課程**

2等陸士
松本 健助

『感謝を大事に』

約3カ月の前期教育を全くとって、振り返ると、この環境でしか味わえない貴重な経験と困難の連続であったように思います。厳しい訓練や規則の中で、自分自身の弱さや、甘えに向き合いながら一つ一つの壁を仲間と共に乗り越えてきた時間、私にとってかけがえのない財産です。また、この期間を通じて支えてくれた多くの人々への「感謝」の気持ちが何よりも大きくなりました。

仲間とは、苦しさや、達成感を分かち合いながら、深い絆を築く事が出来ました。そして厳しくも愛情をもって指導してくださった教官の方々のおかげで、私たちは教わるのではなく「考え、気づき、行動する力」を育てて頂きました。また、遠くから支えてくれる家族、友人の存在の大きさも改めて実感しました。

区隊長の要領事項として示された「感謝」という言葉の意味を、日々訓練を重ねることに深く理解するようになりました。毎日、温かい食事が出てくること、眠れる場所があること、励ましあい笑いあえる同期がいること、そして自分が今日も元気でいられること、これらは決して当たり前ではなく、多くの方の支えや努力の上に成り立っているのだと学びました。

前期教育で得たこの「感謝の心」、そして、一緒に数々の困難を乗り越え、笑いあった同期との思い出を胸に刻み、自衛官として、そして、一人の人間として、さらに責任感と誇りを持って歩んでいきたいと思っています。



**第109教育大隊
314共通教育中隊
第2区隊班付士長**

陸士長
山内 美古都

『貴重な経験』

第24期一般陸曹候補生課程に314中隊第2区隊班付士長として参加しました。

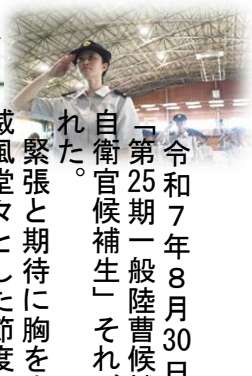
2年前に教育を受けた時から班付士長という存在に憧れ、一緒に学びながら成長したいという希望がありました。

入隊して間もない新隊員と同じで不安と緊張がありました。その不安も毎日頑張っている新隊員の姿を見て、「皆なら乗り越えられる。」と応援したくなり共に頑張ろうという前向きな気持ちに変えてもらっていました。隊員一人一人が異なる考えや価値観を持っており、ぶつかり合う場面もありましたが、彼女達自身で話し合い協調性をもって成長して行く姿を見守り、寄り添って支える立場として喜びを実感しました。彼女達には、これまでの経験を活かしてそれぞれの場所で輝いて欲しいと願い応援しています。

この3ヶ月間は、かけがえのない時間であり、本当に貴重な経験となりました。

原隊の方々をはじめ、曹候補生、大隊本部及び中隊基幹要員の方々に感謝しています。

新たなる誓い～仲間とともに歩む、未来への第一歩～



令和7年8月30日(土)、31日(日)に「第25期一般陸曹候補生」、「7年度第2次自衛官候補生」それぞれの入隊式が執り行われた。

緊張と期待に胸を膨らませる新隊員たちは威風堂々とした節度ある態度で式に臨み宣誓を行った。

教育大隊長に始まり中部方面混成団長、来賓の方々からの激励の言葉に耳を傾ける新隊員たちの姿には決意と誇りが滲み出ていた。

今後、仲間とともに挑戦していく約3カ月の日々が、彼らを強く頼もしい自衛官へと成長させていきます。



彦根総合高校訪問授業

大津駐屯地は、令和7年9月16日(火)滋賀県彦根市にある彦根総合高等学校において訪問授業を行いました。

今回で4回目になるこの授業では、災害ボランティアに積極的に参加する彦根総合高校の野球部を対象に防災に関する必要な知識及び技能を習得させるために実施しています。

彼たちは、普段の野球部の団体行動で培ったチームワークを発揮し災害時に役立つ知識と技術を学びました。



サマーキャンプ2025

大津駐屯地は令和7年8月8日(金)・9日(土)の2日間にわたりサマーキャンプを実施した。

募集対象者を対象に行ったこの行事は1泊2日の生活体験をし、自衛隊の職種などをPRした。参加した方からは、「同じ入隊希望をしている方に出会えてよかった」、「印象に残るイベントであった来年も参加したい」、「自衛隊の印象がよくなった」など様々な意見がありサマーキャンプ2025は大盛況に終わった。



駐屯地隊員家族の日

令和7年8月8日(金)、大津駐屯地はびわ湖花火大会にあわせ「駐屯地隊員家族の日」を実施した。

当日はあいにくの天気でしたが花火は予定通り実施された。ちびっこ広場がありお子様も楽しめたイベントとなりました。

滋賀県 おすすめ場所紹介

今回から新コーナー「滋賀県おすすめ場所(筆者の独断です...)」の紹介をしていきます。

初回は、滋賀県守山市にある『びわこもりやまフルーツランド』を紹介いたします。

この場所はびわ湖の豊かな自然に囲まれた観光農園です。四季折々のフルーツ狩りが楽しめる、家族や友人同士でにぎわっています。

実際に私筆者もフルーツランドにて梨狩りに挑戦!!

採れたての梨はみずみずしく、一口かじると口いっぱい甘みが広がりました。

90分間の梨食べ放題! 皆さんもぜひ行ってみてはいかがですか☆